

ハ青年部員ヲ督シテ執拗ナル家庭計同ヲ為サシメ得出ニ努
ムルト考ニ二日以後ハ自由労働組合ヨリ多數ノ應援アリ尚
友誼団体ヨリ金品ノ寄附アルハ十指ノ宣傳ヲ為シ軟派団員
ヲ牽制スルニ努メ二日夕緊急幹部會ヲ開キ事案決定ニ関シ
協議ノ結果各一日分ノ給料ヲ繰出スルヲ指令セルカ全支出
金セハ約五百圓ニ達スル見込ナリ

本部ニ於テハ別記(3)ノ如ク事案ニユース第二号ヲ發行団員
及関係方面ニ配布セリ

(2) 會社側ニ在リテハ引續キ金庫中ナルカ調達良好ノ状態ニ
累ニ為奉セシ解任者ヲ當ハ期日内支拂ヲ希望ニテ社員ノ未
拂給料ハ繰上ケ給與スルコト意向ニテ漸次活発ヲ呈セリ

七、警察取締

(1) 所轄大塚署ニ於テハ引續キ制札服負八十名ヲ交替配置シ警
戒中ナリ合社危險物貯蔵量ハ

(1) マンヨールの約壹千加ロソ (2) ウーテル及アルユキール各万
加ロソ

ニシテ爭執団員カ前報ノ如ク別働隊ヲ以テ本法行動ヲ敢
行セルニヨリ之等ノ危險物ニ對シ特殊ノ警戒ヲ為シワ、ア

(2) 五月三十一日無着在野支局アヒラフテ撤布セル事案團員那
須大助ノ考記者タル
府下控票所戸越ハ白〇 屋職工

團員 澤澤一五吉 菊廿五

(3) 八昨二日本部内ニ於テ若見野鞍暑ニ檢査ニ取調中ナリ
一日前三時頃大西重徳宅附近ニ於テビラ駐在中ニ若見檢査
シタル箭内均及八幡壽三郎ノ兩名ハ情状輕微ト認メ翌二日
后白時加診ノ上解任セリ
状況前記ノ通ニ付各事案團員本部ノ動靜嚴密視察中ナリ